

ハンディ魚群探知機2 簡易取り扱いマニュアル

Version 1.0. y



保証期間: 6ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

サポートのご案内

■ 修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応をさせていただきます。症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品を下記住所までご送付ください(お届け日より1週間以内の場合は、初期不良として着払いにてご送付いただけます)

記載内容に不備がある場合、新しいマニュアルを公開している場合がございます。ダウンロードページをご確認ください。

<http://www.thanko.jp/support/download.html>

ご質問などが多い内容については、Q&Aページに記載している場合がございます。

<http://www.thanko.jp/support/qa.html>

■ メールでのお問い合わせ

お客様の御名前、商品名、お問い合わせ内容を記載し、下記アドレスまでご連絡ください。

support@thanko.jp

サンコーカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田5-6-12 コービル4F

TEL 03-5812-1519 FAX 03-5812-1520

(月～金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)

● 仕様

サイズ	幅68×高さ115×奥行22(mm)、431g
電源	単4電池4本(別売)
稼働時間	約50時間(通常モード・バックライトなしの場合)
探査深度	0.6～100m
センサー発信角度	45度
動作温度	-10～70度
付属品	本体、ソナーセンサーケーブル(9.25m)、 ネックストラップ、固定用アダプター、羽ナット、 日本語説明書
パッケージサイズ	幅270×高さ60×奥行167(mm)
パッケージ重量	552g

⚠️ ご注意

- ・ソナーセンサーに衝撃を与えないようにご注意ください。
- ・使用後は電池を外して保管してください。
- ・使用後はきれいな水で洗ってから保管してください。

● 付属品一覧



- ①本体 ②ソナーセンサーケーブル(約9.25m)
③ネックストラップ ④固定用アダプター ⑤羽ナット

● 電池を入れる

本体背面にある電池カバーを開けて、単4電池を表示にしたがって、差し込んでください。

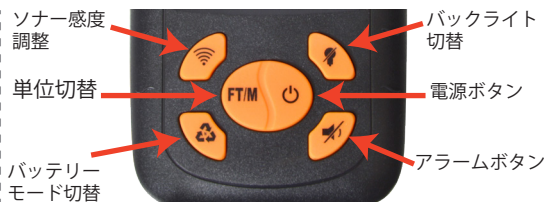


● ソナーと本体を繋ぐ

本体上面にある差し込みに、ソナーケーブルを差し込んで下さい。方向に気を付けて差し込んで下さい。



● 本体ボタンの役割



- ・電源ボタン 押すと電源ON、3秒押しでOFF、5秒押しでシミュレーションモード
- ※水深表示が「—」の状態では5分続くと自動的に電源は切断されます。
- ※シミュレーションモードは、本体がどのように表示されるかを確認できるモードです(5分で電源OFF)
- ・バックライト切替 モニター画面のバックライトのON/OFF切替
- ・アラームボタン 魚を発見時のアラーム音ON/OFF
- ・ソナー感度調整 ソナーセンサーの感度を調整
- ・単位切替 FT(フィート)M(メートル)表示切替
- ・バッテリーモード 通常/バッテリーセーブモードの切替

電源を入れた後、通常モードで各ボタンを2秒ほど長押しをすると、モニターに表示されたアイコンが点滅して、設定を変更する事ができます。



5段階の感度があります。濁っているときや深いところでは強く、浅いところでは感度は低く設定してください。



セーブモードにすると省電力モードになります。



ONで常にバックライトが点灯します。ONの場合バッテリーの消費スピードが速くなります。OFFの場合、何かボタンを押すと3秒間バックライトが点灯します。

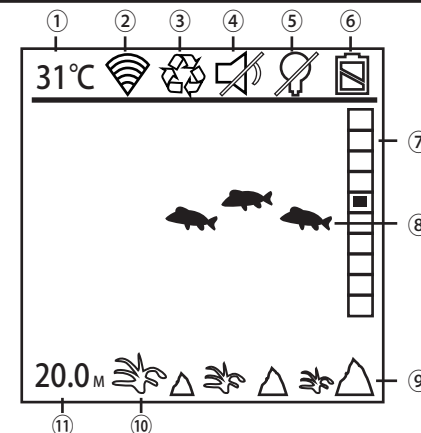


魚を検知するとアラーム音が鳴ります。

FT/M 単位切替

水深計の単位をFT(フィート)M(メートル)に切替ができます。

● モニターの表示について

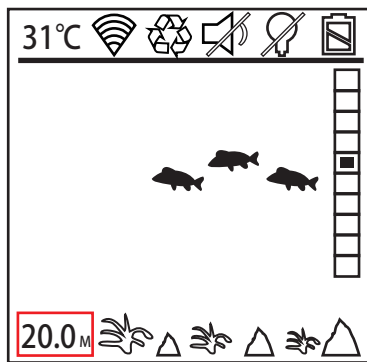


- ①…水温 ②…センサー感度
③…バッテリーセーブ ④…アラーム
⑤…バックライト ⑥…バッテリー残量
⑦…魚群深度計 ⑧…魚群計
⑨…水底状態表示 ⑩…水草状態表示
⑪…水深計

裏面に続く➡

● モニターの見方

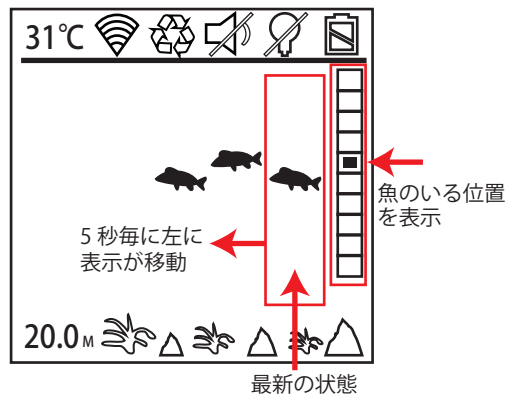
● 水深の表示について



水深はソナーが水中に置かれると、左下部に表示されます。**水深0.6～100メートルを超えときは水深表示が「—」になります。**

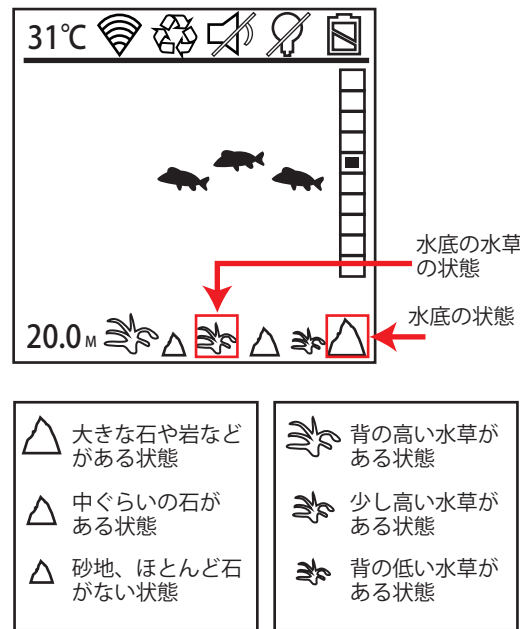
※水が著しく混濁している時、重い粒子や水底が泥の際にも「—」表示されます。

● 魚の表示と位置について



ソナーが魚を捉えると、魚のシルエットが表示されます。一番右の列が最新の状態、5秒毎に左に移動していきます。ソナーから魚の距離は、一番右の魚群深度計の黒い■が表示されている位置を確認してください。現在の水深を10分割した際の位置を示しています。上のモニター状態だと、水深20Mで、上から5個目が■なので、大体10Mの位置に魚がいることになります。

● 水草と水底の表示について



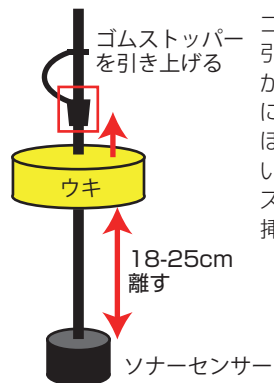
● モニターのリセット

電源がONの状態、電源ボタンを長押しすると、表示および設定がリセットされます。



この状態に設定がリセットされますので、ご注意ください。また、電源を切ると、同じくこの状態にリセットされます。

● ソナーセンサーの準備

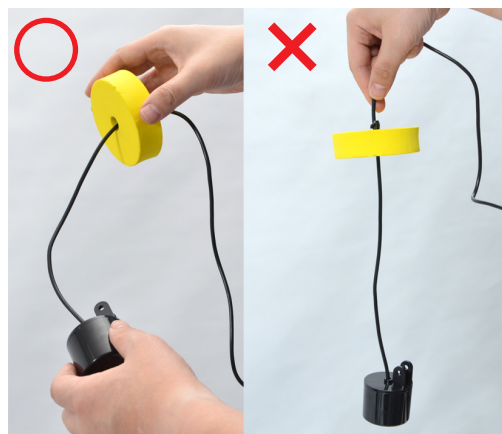


ゴムストッパーをウキから引き上げ、ウキをセンサーから約18-25cmの位置に調整します。最低18cmほど離すようにして下さい。調整が終わったら、ゴムストッパーをウキにしっかり挿入して固定します。

ウキが不要な場合は、ゴムストッパーをプラグの方向から引き抜き、その後ウキをプラグの方向から外してください。その際強く引かないようにご注意ください。

● ソナーを使用する

ソナーセンサーとウキを釣りたい場所に合わせて投げ入れます。ソナーセンサーとウキを手にとって下手で投げます。ケーブルを持って投げないようにしてください。



ソナーセンサーとウキ以外のケーブル部分が水底に着かないように注意してください。ケーブルが沈む場合は、ケーブルにウキを追加するなどしてください。

● ソナーを希望の場所に動かす

ソナーセンサーを希望の場所に動かすには、ソナーセンサーに紐やポールなどを取り付けて、移動させてください。必要に応じて、アダプターを取り付けて下さい。



● 船で使用する

ソナーセンサーにアダプターを取り付けて、船の底などに固定してください。

● 氷上使用する

氷上での釣りに使用する場合、氷に穴を開けてソナーセンサーを水中に直接入れることをお勧めいたします。穴を掘る前に魚や深さを調べたいときは、氷表面の雪を取り除き、表面を滑らかにしてください。少量の水を氷にかけ、センサーが氷表面にくっつくように凍りつかせます。

※氷からソナーセンサーを外す場合、ソナーセンサーの底を手で優しく叩いてください。剥がれない場合は少量の水を氷表面に撒き、ソナーセンサーが簡単に動くようになるまで繰り返してください。